



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 グローム・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 8938 URL <https://www.glome-holdings.com>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）菅原 正純
問合せ先責任者 （役職名）経営企画部 部長 （氏名）太田 さおり TEL 03-5545-8101
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	993	△7.5	△37	—	△358	—	△449	—
2025年3月期中間期	1,074	121.6	12	—	8	—	△0	△99.3

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △449百万円（－％） 2025年3月期中間期 7百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△49.72	—
2025年3月期中間期	△0.07	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	8,039	7,370	89.8
2025年3月期	8,645	7,838	88.9

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 7,219百万円 2025年3月期 7,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	2,154	5.4	22	148.4	△298	△457.7	△405	△673.5

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	9,051,000株	2025年3月期	9,051,000株
2026年3月期中間期	639株	2025年3月期	639株
2026年3月期中間期	9,050,361株	2025年3月期中間期	9,050,361株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(表示方法の変更)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループの連結業績は売上高993百万円(前年同期比7.5%減収)、営業損失37百万円(前年同期は営業利益12百万円)、経常損失は358百万円(前年同期は経常利益8百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失は449百万円(前年同期も親会社株主に帰属する中間純損失0百万円)となりました。

①医療関連事業セグメント

売上高929百万円(前年同期比7.8%減収)、営業利益152百万円(前年同期比15.7%減益)となりました。

アライアンス先医療機関が保有する総病床数は4,828床、アライアンス先施設の内訳は無床診療所6施設、有床診療所8施設、病院(介護医療院を含む)24施設、介護老人保健施設12施設の計50施設で前連結会計年度末より減少しています。

②不動産関連事業セグメント

売上高64百万円(前年同期比3.3%減収)、営業利益21百万円(前年同期比19.0%増益)となりました。

固定資産の2件、引き続き不動産の賃貸事業を行なっております。

- ・北海道釧路市所在の商業施設
- ・北海道留萌市所在の商業施設

③その他

当社の持分法適用関連会社である株式会社DAホールディングスの当社の保有する株式全ての譲渡について、同社の中間決算確定により、持分法による投資損失313百万円、関係会社株式売却損83百万円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比して7.0%減少し、8,039百万円となりました。主な要因は、現金及び預金272百万円の増加があった一方で、関係会社株式797百万円、1年内回収予定の長期貸付金258百万円の減少があったことによります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比して17.0%減少し、669百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金147百万円、未払法人税等24百万円、賞与引当金15百万円の減少があったことによります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比して6.0%減少し、7,370百万円となりました。主な要因は、利益剰余金468百万円の減少があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日、業績予想の修正を開示しております。詳細につきましては、本日(2025年11月14日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,186	2,458
売掛金	194	260
営業貸付金	1,572	1,720
商品及び製品	16	17
原材料及び貯蔵品	0	0
短期貸付金	8	8
1年内回収予定の長期貸付金	486	228
その他	158	163
貸倒引当金	△283	△289
流動資産合計	4,339	4,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	785	753
土地	693	693
リース資産(純額)	9	8
その他(純額)	23	22
有形固定資産合計	1,511	1,477
無形固定資産		
のれん	60	51
その他	5	7
無形固定資産合計	65	58
投資その他の資産		
関係会社株式	797	-
長期貸付金	1,927	1,936
繰延税金資産	14	14
敷金及び保証金	69	69
その他	408	387
貸倒引当金	△488	△473
投資その他の資産合計	2,728	1,934
固定資産合計	4,305	3,470
資産合計	8,645	8,039

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	320	172
1年内返済予定の長期借入金	10	10
未払法人税等	44	19
賞与引当金	15	-
リース債務	2	2
その他	203	261
流動負債合計	596	465
固定負債		
長期借入金	35	30
リース債務	8	7
資産除去債務	18	19
長期預り敷金保証金	145	145
退職給付に係る負債	2	2
固定負債合計	210	203
負債合計	806	669
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,049	3,049
資本剰余金	3,012	3,012
利益剰余金	1,626	1,158
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,687	7,219
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	0	-
その他の包括利益累計額合計	0	-
新株予約権	151	151
純資産合計	7,838	7,370
負債純資産合計	8,645	8,039

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,074	993
売上原価	524	535
売上総利益	549	458
販売費及び一般管理費	536	496
営業利益又は営業損失(△)	12	△37
営業外収益		
受取利息	0	2
その他	0	0
営業外収益合計	1	3
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	1	313
その他	3	9
営業外費用合計	5	324
経常利益又は経常損失(△)	8	△358
特別利益		
固定資産売却益	2	-
出資金評価損戻入益	0	-
特別利益合計	2	-
特別損失		
固定資産除却損	0	-
解体費用	9	-
出資金評価損	-	5
関係会社株式売却損	-	83
その他	-	1
特別損失合計	9	91
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	2	△449
法人税等	2	0
中間純損失(△)	△0	△449
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△0	△449

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△0	△449
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	8	△0
その他の包括利益合計	8	△0
中間包括利益	7	△449
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7	△449
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当中間連結会計期間において、当社の持分法適用関連会社であった株式会社DAホールディングスの全株式を売却したため、持分法適用の範囲から除外しております。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、「固定負債」の「その他」に含めていた「退職給付に係る負債」は、表示の明瞭性を高める観点から、当中間連結会計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「固定負債」の「その他」に表示していた2百万円は、「退職給付に係る負債」2百万円として組み替えております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当中間連結累計期間における中間連結キャッシュ・フロー計算書に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る減価償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前中間連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	34百万円	38百万円
のれん償却額	8百万円	8百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額(注) 2
	医療関連	不動産関連	計			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,007	4	1,011	1,011	-	1,011
その他の収益	-	62	62	62	-	62
外部顧客への売上高	1,007	66	1,074	1,074	-	1,074
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,007	66	1,074	1,074	-	1,074
セグメント利益	180	18	199	199	△186	12

(注) 1 セグメント利益の調整額△186百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△199百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額(注) 2
	医療関連	不動産関連	計			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	929	2	931	931	-	931
その他の収益	-	62	62	62	-	62
外部顧客への売上高	929	64	993	993	-	993
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	929	64	993	993	-	993
セグメント利益又は損失(△)	152	21	174	174	△212	△37

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△212百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△223百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(持分法適用関連会社株式の譲渡)

当社は、2025年6月30日開催の取締役会において、当社の持分法適用関連会社である株式会社DAホールディングスの全株式を譲渡することを決議し、2025年6月30日付で株式譲渡契約を締結いたしました。当該契約に基づき、2025年7月31日に株式の譲渡を実施いたしました。なお、本株式譲渡に伴い、株式会社DAホールディングスは当社の持分法適用関連会社から除外されました。

(1) 株式譲渡の理由

2016年当時の資本業務提携時に掲げた、不動産関連事業と医療関連事業における当社と株式会社DAホールディングスとの協業は、ほとんど行われませんでした。

そのような中、ポールスター株式会社より、当社保有の株式会社DAホールディングス株式の取得の意向が示され、交渉を行った結果、ポールスター株式会社が当社の保有する株式会社DAホールディングスの全株式を取得することで協議が成立した次第です。

(2) 株式譲渡の相手先の名称

ポールスター株式会社

(3) 株式譲渡の時期

- | | |
|-----------|------------|
| ① 契約締結日 | 2025年6月30日 |
| ② 株式譲渡実行日 | 2025年7月31日 |

(4) 当該関連会社の概要

- | | |
|------------|------------------|
| ① 名称 | 株式会社 DA ホールディングス |
| ② 事業内容 | 持株会社 |
| ③ 当社との取引関係 | 事務業務の受託、不動産管理の委託 |

(5) 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式数

- | | |
|-------------|-------------------------|
| ① 譲渡前の所有株式数 | 456,606 株 (持分割合: 29.6%) |
| ② 譲渡株式数 | 456,606 株 (持分割合: 29.6%) |
| ③ 譲渡価額 | 400百万円 |
| ④ 譲渡後の所有株式数 | 0 株 (持分割合: 0.0%) |